

令和6年度 北海道鹿追高等学校学校教育目標における指導上の重点事項についての自己評価アンケート集約結果 ※回答:教職員20名(管理職を
※各評価項目の「達成度評価」について、右記の基準で調査 達成度評価基準 4:十分達成できた 3:ほぼ達成できた 2:やや不十分である 1:不十分である
※各評価項目の「取組の適切さ」について、右記の基準で調査 適切さ評価基準 4:適切である 3:ほぼ適切である 2:やや適切でない 1:適切でない

評価項目		達成状況	取組の適切さ	達成(R5)	取組(R5)	課題と改善方策	達成状況	取組の適切さ	
1	生徒自らが意欲を持って学ぶ姿勢を育成する指導に努める。	3.00	3.17	3.05	3.30	学習意欲の向上に向けた働きかけを行う。また、ICTを活用した学習支援を強化し、学びやすい環境を提供する。	3.2	3.2	■達成状況 ■取組の適切さ ■達成(R5) ■取組(R5) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16
2	基本的な知識・技能の定着と、思考力・判断力・表現力を育成する学習指導に努める。	3.33	3.17	3.15	3.40	より効率的・効果的な学習指導を模索していく。思考力・判断力・表現力の育成のため、さらなる実践的な学習活動を実施する。			
3	社会人として自立するためのコミュニケーション能力の育成(言語活動の充実)を図る。	3.17	3.25	3.10	3.40	多様な言語活動への挑戦を促す。伝えたいことや要約する機会などを増やし、実践的な対話力を育成していく。			
4	授業時数を確保し生徒が進路目標を実現できる学習能力の育成に努める。	3.17	3.08	3.25	3.35	授業時数の確保のための工夫。また、ICT等を効果的に活用していく、進路目標を学習計画に反映できるようにする。			
5	教職員共通理解のもと、生徒の基本的な生活習慣を育成する。	2.67	3.17	3.05	3.00	全教職員が一貫した指導ができるよう、生徒指導部より定期的に情報発信をしていく。	3.1	3.3	
6	問題行動やイジメ等の早期発見、早期指導に組織として取り組む。	3.25	3.25	3.40	3.40	問題行動やいじめ防止に向けて、いじめ対策委員会より情報発信を行う。また、教員による抱え込みがないよう情報共有を欠かさないことも周知・徹底する。			
7	保護者・地域・関係機関と連携し、調和のとれた個性の伸長を図る。	3.33	3.33	3.40	3.45	地域の声を指導に活かすために、CSで得た意見を積極的に取り入れていく。			
8	中高一貫教育の充実を図るため、生徒会や部活動など広い範囲での連携を図る。	3.17	3.25	3.10	3.15	生徒会行事や部活動・課外活動・授業において中学校に参加してもらえるよう働きかける。また、必要に応じて教員間の情報共有も図っていく。			
9	コース制の特徴を活かしながら、3年間を見通した進路指導に努める。	3.33	3.33	3.35	3.40	コースに問わず、進路希望先の受験方法の多様化が進んでおり、学習能力のみならず探究心やプレゼン能力の向上が必要。	3.3	3.4	
10	中学校や地域・関係機関との連携を深め、進路学習の充実に努める。	3.25	3.25	3.15	3.25	町との連携強化。公設塾やペンギンコロニーの有効的な活用を促す。			
11	望ましい職業観や社会性の育成を図り、キャリア教育を推進する。	3.42	3.58	3.40	3.50	職業観育成のための講演会や体験する機会が少ない。授業時間内での実施はこれ以上の時数確保が困難。長期休暇を利用した自主的な活動を勧める。			
12	生徒の進路実現を援助するため、生徒及び保護者へ積極的に進路情報を発信する。	3.33	3.25	3.25	3.40	進路通信の活用。保護者に対しては成績発送に併せて通信を出している。回数を増やす必要があるか。			
13	情報モラル教育、交通安全、薬物乱用防止等の安全教育の推進を図る。	3.33	3.33	3.50	3.55	警察や外部機関と連携し講話を行っている。例年は警察のみに依頼していたが、必要に応じて外部機関にも依頼していく。	3.4	3.4	
14	日常的な清掃点検・美化活動を推進し、清潔で快適な校舎環境を維持する。	3.42	3.50	3.50	3.50	ゴミの分別を始め、教室美化に関する呼びかけを毎年度はじめに行っている。今後も継続実施していく。			
15	学校保健活動、教育相談、性に関する健康教育などの充実を図る。	3.42	3.42	3.55	3.60	WYSH授業を取り入れる等、教育に学校全体で取り組んでいる。			
16	身の回りに起こる危機を予測して、回避する能力を育成する。	3.25	3.25	3.30	3.45	毎年行っている安全教室で、自分自身で考える機会を設けている。			